

保護者負担軽減計画について

<京都府提出資料>

学校名	京都産業大学附属高等学校
所在地	京都市下京区中堂寺命婦町1-10
電話番号	075-279-0001

<p>(1) 建学の精神</p>	<p>「知性」「品格」「気概」を校訓とし、「豊かな教養と、全人類の平和と幸福のために寄与する精神を持った人間の育成」を教育目標とします。</p>																																							
<p>(2) 本校の特色及び将来展望</p>	<p>①生徒が将来一人の社会人として自立し、社会に貢献できる人物に成長していくために、生徒一人ひとりの進路希望を実現するためのきめ細かな指導を行い、高い学力を修得すべく個に応じた教育を行います。また、大学附属校であることの利点を活かし、中学・高校・大学の一貫教育、連携教育を積極的に行います。 ②同時に、高い倫理観を持ち、幅広い教養と逞しい行動力を持った人間力（人間性）溢れる人物として成長していくために、課外活動への参加を奨励し、人間教育やきめ細かい生活指導を積極的に行います。</p>																																							
<p>(3) ・令和7年度納付金</p> <p>※学科やコースによって納付金に差異がある場合は最低額を計上。</p> <p>・今回改定 あり なし</p> <p>・前回改定 令和4年度</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="2">【1年生】</td> <td>入学金</td> <td>施設拡充費 (入学時)</td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計 (入学時除く)</td> <td>審査料</td> </tr> <tr> <td>120,000</td> <td></td> <td>660,000</td> <td>264,000</td> <td>924,000</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">【2年生】</td> <td colspan="2"></td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>600,000</td> <td>350,000</td> <td>950,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">【3年生】</td> <td colspan="2"></td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>600,000</td> <td>340,000</td> <td>940,000</td> <td></td> </tr> </table> <p>*施設拡充費等には、施設拡充費、校費、実験実習費、冷暖房費等の入学金、授業料及び検定料以外の納付金で、学則に定めのあるものすべてを含む。ただし、PTA、生徒会等、学校法人とは別団体に属する経費、任意寄附金及び給食費は除外。</p>	【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	審査料	120,000		660,000	264,000	924,000	20,000	【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計				600,000	350,000	950,000		【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計				600,000	340,000	940,000	
【1年生】	入学金		施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	審査料																																	
	120,000		660,000	264,000	924,000	20,000																																		
【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																			
			600,000	350,000	950,000																																			
【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																			
			600,000	340,000	940,000																																			
<p>・今後の納付金に対する考え方</p>	<p>令和7年度より、教育環境の充実のために隣接するむすびわざ館3・4階を改修し、新たな学びの場として活用するとともに、放課後の学習支援サービスを新たに導入します。それらに係る費用や、電気やガスの値上げをはじめとした物価高騰、校舎の施設設備の維持更新（空調やICT機器）、今後の学校改革のための費用が必要になります。また、これまで運用していたコース費を見直し、令和7年度1年生から徴収は行わず、コース費としていたものの大半を授業料・教育充実費からの支出としました。社会の経済状況から保護者に学費変更による負担をお願いすることは、非常に困難なことではありますが、これらを踏まえ、令和7年度1年生より、授業料・教育充実費が改定となりました。今後も納付金の増額改定は最小限に抑えつつ、教育の質向上に努めてまいります。</p>																																							
<p>(4) 教育内容、施設整備の改善・拡充等の状況</p>	<p>「建学の精神」を基本とし、将来のグローバル化社会で活躍できる人材の育成。さらに、それぞれのコースの進路実現を目標として教育活動に取り組んでいます。 令和7年度より、中高棟と隣接するむすびわざ館の3階・4階は、あらたな学びの場として、探究型の授業や放課後の自習などのスペースが誕生しました。放課後の自習においては、メンターが常駐して、授業の予習、復習から大学受験対策まで支援します。また、特進コースを対象とした外部講師による放課後特別講座（αゼミ）の実施に加え、今年度より、土曜講習を開講、さらに、これからの時代を見据えた「STEAMプログラム」も開講し、さらなる学力の伸長と生徒の将来への可能性を拡げます。ICTを活用した教育の推進及び全校生徒が所持する端末の有効活用に向けて、環境の整備も継続して行っております。</p>																																							
<p>(5) 令和7年度の保護者負担軽減策及び考え方</p>	<p>これまで、成績優秀者に対し奨学金制度を設け、授業料の全額減免、半額減免、1/3減免を実施してきました。また、兄弟姉妹在籍者には、入学金の一部を入学後に減免しています。さらに、「サギタリウス基金」を原資とする奨学金制度を運用しております。</p>																																							
<p>(6) 今後6年程度の保護者負担軽減計画</p>	<p>奨学金制度の運用により、保護者の負担軽減を図っておりますが、ICT機器導入に伴う保守費用や社会のニーズに応じた教育課程の再編成により、費用の増加要因は増えるばかりです。やむを得ず納付金の増額改定を行う場合は最小限にとどめ、学費の在り方、奨学金制度のさらなる充実等により保護者負担の軽減を図れるよう検討を行うこととしております。</p>																																							